

令和2年度 生駒市環境モデル都市 取組実績

資料 4

環境がまちをつくる

環境負荷の低いまちづくり	集合住宅共用部LED化補助金(補助件数 13件)
省エネルギーフォーム・リノベーション支援	住宅省エネルギー改修工事補助(建築課)(補助件数 28件) 「いこま空き家流通促進プラットフォーム」において、空き家流通促進検討会議を月に1度開催しながら空き家所有者支援を実施(住宅政策室)(取扱件数22件(内成約件数:9件)) 既存住宅流通等促進奨励金(住宅政策室)(補助件数 7件)
太陽光発電システムの加速度的普及促進・既存設備の有効活用	太陽光発電普及促進事業補助 ・1kWあたり2万円(補助件数 64件) 全額市民出資による市民共同発電所(第1号機~4号機)を運営する「市民エネルギー生駒」と連携した取組を実施
燃料電池・コージェネレーションの導入支援	家庭用燃料電池設置補助 ・1件あたり5万円(補助件数 208件) 家庭用リチウムイオン蓄電システム設置補助 ・1kWhあたり1万円(補助件数 73件)
環境にやさしい移動手段の普及促進	市内の5箇所(市役所、エコパーク21、図書館、北コミュニティセンター・南コミュニティセンター)に設置された電気自動車用急速充電器を引き続き運用 ・利用実績 836件、3,911kWh 超小型モビリティ2台の乳児等訪問事業での運用を継続(健康課) V2Hシステム設置補助 1件あたり5万円(補助件数 1件)

環境がひとを育てる

家庭でのエコ取組の促進	省エネルギー診断(うちエコ診断)の実施(参加者 26名)
学校・地域への環境出前講座	いこま市民パワーとの共催による「まちかつサミット2020」において、まちづくりを体感できる体験型ワークショップ「SDGs de 地方創生カードゲーム」を実施
住民や企業、他都市と連携した取組	「SDGs自治体白書2021」「事業構想」「ゼロカーボンシティ取組映像(環境省)」「環境白書」「SUUMOジャーナル」での事例紹介、「近畿自治体環境施策情報交換会(きんき環境館)」「エネルギー施策と連携した災害に強い持続可能なまちづくり担当者会議(国土交通省)」「池田市SDGsフォーラム」での講演、総務省ふるさとづくり大賞地方自治体表彰を受賞。

環境が経済を循環させる

「いこま市民パワー」を基軸とした経済の循環	平成29年に設立された地域新電力会社「いこま市民パワー株式会社」による電力供給を継続・いこま市民パワーにおいて中長期計画が策定され、電力事業の安定収益をベースに地域課題解決と市民活躍の受け皿となる「まちづくり会社」を目指す方向性が示された。
各種EMS導入支援	住宅用エネルギー管理システム(HEMS)設置補助 ・1件あたり上限1万円(補助件数 28件)
地産地消サイクル構築に向けた取組	フードドライブを毎週木曜日に実施(回収量 280kg) 生ごみを含む資源回収ステーションを設置した、複合型コミュニティ事業を市内2自治会で実施。イベント等での生ごみ処理によるメタンガスの利用や液肥を家庭菜園や地元農家で活用した。農作物の移動販売を併せて、地産地消のモデルを作った。 食品ロスの削減に取り組む、生駒市食品ロス削減協力店制度を運用開始した。 ・登録店 5店舗